

青森県立郷土館 令和6年度評価

基本的運営方針	令和6年度事業計画			令和6年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
1 資料の収集・保存 総合博物館である当館は、開館以来、一貫して郷土の歴史や自然、文化などに関する資料の収集・保存に努めています。県民・国民共有の財産である貴重な資料を、良好な状態で次の世代に継承していきます。	寄贈・寄託の受入等を推進するとともに、資料の保存処理を計画的に実施し適切に保管します。 また、デジタル・アーカイブ化を推進します。	資料収集方針等に基づき受入を適切に行い、館所蔵の資料を充実させるとともに、資料管理システムへ登録します。	・資料寄贈、寄託受入 ・資料管理システムへの登録点数 [登録：470 点/年]	寄贈の申出のあった資料について、資料受入等判定会議を2回開催し、資料収集方針等に基づき適切に受入を行い、館所蔵資料の充実を進めた。また、資料の登録・整理作業を進め、資料管理システムへの登録を行った。 ○資料受入：328 点（総点数：101,952 点） ○資料管理システムへの登録点数：380 点（総点数：104,996 点）	概ね達成
		ゲストキュレーターの協力を得て収蔵資料の整理を進め、適切に保存します。 資料の保存処理を行います。	・ゲストキュレーター活動実績 ・資料の保存処理の実績	ゲストキュレーターの協力を得て資料整理を進めるとともに、資料の保存処理を計画的に進めた。 ○昆虫標本ハムシ類同定 500 点実施 ○資料の保存処理 ・重要文化財大石平遺跡出土品修理 3 点実施 ・県重宝漆塗製品修理 2 点実施	達成
		資料を点検し、厳正な保管を行います。	・資料の点検実績	主に指定文化財等の重要資料の点検を3月に実施した。	達成
	改修工事に伴う資料の館外退避を適切に行います。	資料の館外退避について、館外退避計画を作成し、実施します。	・館外退避計画作成及び実施実績	資料退避に向けて、退避先施設や文化庁との協議を行いながら、館外退避計画を作成したが、年度中途において、再開館に向け施設改修としていた館の整備方針を見直すことを決定したため、資料の館外退避は実施せず。	—

青森県立郷土館 令和6年度評価

基本的運営方針	令和6年度事業計画			令和6年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
2 展示 郷土の歴史や自然、文化などを体感し、学び、知的探求心が喚起されるよう、わかりやすい展示を行います。 また、他の博物館や民間事業者等の多様な主体との連携により、郷土への関心が高まるよう、多彩な活動を展開します。	郷土の歴史や自然、文化などを体感し、学び、知的探求心が喚起されるよう、休館中においても館外での展示を行い、資料に触れる機会を確保するとともに、リニューアルに向けた展示設計について検討します。 多様な主体との連携により、郷土への関心が高まるよう、多彩な活動を展開します。	サテライト展を開催します。 また、サテライト展の開催に当たり、関連事業を実施し、体験活動や解説を行います。 リニューアルに向けた展示設計を委託業者と連携して進めます。	・サテライト展開催実績 [3,300 人] ・関連事業開催実績 [50 人] ・アンケート結果 ・展示設計における検討実績	サテライト展及び関連事業を開催したほか、多様な主体と連携した展示等を行い、多くの方に観覧いただき、好評を得た。 ○サテライト展の開催 サテライト展「缶詰王国あおもり～缶詰の歴史と食文化～」を7/11～10/23 まで（101 日間）、青森県立図書館2階の近代文学館カウンター前ロビーで開催し、本県の水産缶詰業の歴史と、缶詰にまつわる食文化を紹介した。 ＜観覧者数＞ 6,104 人 ＜関連事業＞ ・7/28（夏休みこどものくに） 「タイムカプセル缶詰をつくろう！」（参加者 19 人） ・9/7（土曜セミナー）記念講演会 「缶詰王国あおもり～缶詰の歴史と食文化～」（参加者 34 人） ・9/27（鰯ヶ沢高校との連携事業） 「缶詰作りを体験して TikTok 動画を作ろう！」（参加者 15 人） ・10/5（生涯学習フェア） 「オリジナル缶詰をつくろう！」（参加者 140 人） ・10/19～20（青森工業高校との連携事業）出張展示 「缶詰王国あおもり in 青工文化祭」（観覧者 1,866 人） ・2/13（弘前第一養護学校高等部との連携事業） 「卒業記念～20歳の君に贈る～思い出の缶詰づくり」（参加者 13 人） ＜アンケート結果＞ 来場者アンケートには、1,233 人から回答が得られ、幅広い年齢層の、全国各地からの観覧者があったことがわかった。主な意見としては、「長期休館が残念」など、郷土館の再開を求める声が多くあったほか、「身近にある缶詰を深掘りした展示が素晴らしい」、「マイ缶詰づくりなど青森の缶詰文化に驚いた」、「青森の缶詰の歴史を知れたことは良かった」、「昔の缶詰のラベルデザインがおしゃれ」といった意見や、「母を思い出した」、「祖母を思い出した」など家族の思い出を懐かしむ言葉があったほか、「マイ缶詰、家でも作っていた」、「まるめろの缶詰を家で見たことがある」といった共感をもった感想も多くみられた。	達成

青森県立郷土館 令和6年度評価

基本的運営方針	令和6年度事業計画			令和6年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
2 展示 つづき				○多様な主体との連携 ・6/8～6/19（12日間）東北大学大学院浅虫海洋生物学教育研究センターとの共催展（観覧者221人） … 「東北大学大学院生命科学研究科附属浅虫海洋生物学教育研究センター創立百周年記念事業」に共催し、同センターの前身である旧浅虫臨海実験所の初代所長・畑井新喜司ゆかりの資料等を展示したほか、記念講演会において当館学芸員が講演を行った。 ・8/2～8/7（6日間）青森駅ビルラビナでの連携展（観覧者3,310人） … 青森ねぶた祭り開催期間中、県内外の観光客に祭りの歴史を学んでもらうため、当館所蔵の昔のこどもねぶた灯籠（復元模型）やねぶた・ねぶたの古写真など貴重な資料を青森駅ビル「&LOVINA」3Fで公開する『コラボ Museum・&LOVINA「ネブタ照ラスー青森県立郷土館ねぶた資料展示ー」』を開催。 ・11/1～1/23（84日間）弘前大学資料館との共催展（観覧者412人） … 写真・映像の技術がどのように我々の生活を変えていく可能性があるのか、撮影し残すことの重要性、そして活用することの可能性を検討する、弘前大学資料館企画展「撮る・残す・活かすー映像資料と東北の民俗ー」に共催し、当館が収集・収蔵する、古い8ミリカメラや映写機、民俗の写真・映像などを展示。	

青森県立郷土館 令和6年度評価

基本的運営方針	令和6年度事業計画			令和6年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
2 展示 つづき				○その他の展示 郷土館東側ウィンドーでの季節展示。 「春の風物詩」 3 / 1 ～ 5 / 31 （92 日間） …昭和の桜まつりの写真と露店商の道具を展示 「夏を涼しく」 6 / 1 ～ 8 / 31 （92 日間） …懐かしいホーロー看板とうちわ・虫除けの道具などを展示 「秋の風物詩」 9 / 1 ～11/30 （91 日間） …昭和のリンゴポスターとりんご籠・りんご箱を展示 「冬を暖かく」 12/ 1 ～ 2 / 28 （90 日間） …暖房や採暖に使われた昔の道具を展示 ○展示設計における検討 リニューアルに向けた展示設計の検討を進めた。	

青森県立郷土館 令和6年度評価

基本的運営方針	令和6年度事業計画			令和6年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
3 調査研究 郷土の歴史や自然、文化などについてより明らかにし、記録・公開するため、調査研究を行います。	各分野ごとにテーマを設定し、年次計画に基づいて調査研究を実施し、記録・公開します。	<考古分野> 県内外に所在する青森県ゆかりの考古資料について、文献調査を行うとともに、関西地方の博物館や青森県内は津軽地方の高等学校を対象に、調査を行います。 (5年計画2年次目)	・調査研究実施実績 ・成果の公表実績	<考古分野> 青森県立弘前南高等学校所蔵考古資料の調査を実施した。 また、報告書『玉清水(1)遺跡』を早稲田大学の協力で作成。その成果をもとに下記の論考を『青森県立郷土館研究紀要第49号』で発表した。 ・外ヶ浜町大平山元遺跡群出土の黒曜石遺物の産地分析(出穂雅実、大谷薫、駒田透、ジェフリー・R・ファーガソン、齋藤岳、杉野森淳子) ・外ヶ浜町大平山元Ⅱ遺跡及びⅢ遺跡の出土石器(齋藤岳) ・青森市小牧野遺跡出土の片刃打製石斧について(齋藤岳) ・風韻堂コレクションの中国内蒙古自治区の細石刃(齋藤岳) ・風韻堂コレクションの両頭石槍(齋藤岳) ・三沢市淋代海岸採集のナイフ形石器(齋藤岳、工藤司)	達成
		<自然分野> 青森県内で稼行していた鉱山について文献調査を行うとともに、七戸町上北鉱山跡の実地調査を行います。 (6年計画2年次目)		<自然分野> 青森市滝沢において、上北鉱山と関係が深い高森鉱山のものと思われる選鉱場跡を確認。現在の土地所有者を特定し、経緯等についてヒアリングを行ったほか、選鉱場跡及び高森鉱山に関する文献を調査・整理し、その成果をもとに下記の論考を『青森県立郷土館研究紀要第49号』で発表した。 ・青森市滝沢に残る高森鉱山の鉱山遺構について(島口天、原裕太郎) ・下山健作コレクション甲虫類目録(5)水生食肉類・セスジムシ・ナガヒラタムシ(櫛田俊明、原裕太郎) ・下山健作コレクション甲虫類目録(6)ゾウムシ上科2(佐藤隆志、原裕太郎)	達成

青森県立郷土館 令和6年度評価

基本的運営方針	令和6年度事業計画			令和6年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
<u>3 調査研究</u> つづき		＜歴史分野＞ 青森県を中心とした近世・近現代の交通の様相について調査を行います。 (5年計画2年次目)		＜歴史分野＞ 青森県の近世の交通史の調査として、弘前藩の参勤交代の様相を捉えるため、弘前市立図書館にて幕末期の弘前藩庁日記の調査を実施し、その成果をもとに下記の論考を『青森県立郷土館研究紀要第49号』で発表した。 ・蓑虫山人と青森・黒石市熊沢家旧蔵資料について（太田原慶子） ・幕末期弘前藩の参勤交代について－安政六年津軽承昭の下向－（佐藤良宣） ・【研究ノート】青森を題材とした写真絵はがきの発行について（滝本敦）	達成
		＜民俗分野＞ 下北地方及び南部地方に関わる館蔵資料及び既存の報告書類の再確認と予備調査を通じた新たな調査項目の検討と設定を行います。 (7年計画2年次目)		＜民俗分野＞ 調査テーマ「現代社会の中の民俗」（7年計画2年次目）に基づき、下北地方及び南部地方に関わる館蔵資料及び報告書類を再確認し、新たに、主に南部地方における山野での山菜の採取と活用に関わる習俗と、南部地方の盆行事に関わる習俗等について実地調査を行い、その成果をもとに下記の論考を『青森県立郷土館研究紀要第49号』で発表した。 ・青森県南部地方の盆棚－青森県の盆棚（2）－（増田公寧） ・イザベラ・バードが見た「ヤグラ」－青森県津軽地方の寝宿の習俗－（増田公寧） ・青森県上北郡における山菜類の採集と利用についての事例報告（小山隆秀、中沢秀一）	達成
		＜美術分野＞ 青森県の美術作品について、昭和・平成期を中心に、作家及び関連資料の調査を行います。 青森市出身の作家・鈴木正治が制作した作品をテーマ別に整理し、関連資料についての調査を行います。 (4年計画2年次目)		＜美術分野＞ 青森市出身の作家・鈴木正治が制作した「○△□」と「りんご」をテーマにした作品の制作動機や背景、表現方法について調査・分析し、整理した成果をもとに下記の論考を『青森県立郷土館研究紀要第49号』で発表した。 ・（資料紹介）鈴木正治の絵画作品（○△□・りんご）（中村理香）	達成

青森県立郷土館 令和6年度評価

基本的運営方針	令和6年度事業計画			令和6年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
4 教育普及・学習支援 博物館への興味関心を高め、郷土に関する理解を深めるため、人々の学習を支援し、教育普及活動の充実を図ります。	博物館への興味関心を高め、郷土に関する理解を深めるため、考古、自然、歴史、民俗の各分野において、人々の学習を支援し、教育普及活動の充実を図ります。	館外で一般向け事業及び児童生徒向けの事業を実施します。 <一般対象の事業> ・土曜セミナー 当館職員が本県の歴史や文化、自然などをテーマにした講演等を実施します。 ・講師派遣 県内市町村等、館外からの依頼に応じて当館職員が自分の専門分野をいかした講演等を行います。 ・自然観察会 野外での自然観察を通じて自然に親しみ、自然の素晴らしさを学びます。 ・あおもり街かど探偵団 古い建物や街並みを散策し、地域の歴史を探ります。	・開催実績 [定員の8割以上] ・アンケート結果	館外において、講演や体験活動等を行い、多くの県民に参加いただくことで、博物館への興味関心を高め、郷土に関する理解を深めた。 <一般対象の事業> ○土曜セミナー（平均21人参加／定員40人） 県総合社会教育センターにおいて、5～3月に月1回開催。 ・5/25「77年前に発見されていた県内初記録のカイギュウ化石」(18人) ・6/15「コロナ禍を乗り越えていくネプタ行事」(19人) ・7/20「青函連絡船について～八甲田丸就航60周年～」(18人) ・8/31「つがる市出身の洋画家・松木満史が描いた世界」(22人) ・9/7「缶詰王国あおもり～缶詰の歴史と食文化～」(34人) ・10/19「長く続いた戦争と人々～青森県の戦時中～」(12人) ・11/23「考古資料で探る 海を行き交った人々」(27人) ・12/21「写真絵はがきと青森の風景」(10人) ・1/25「蓑虫山人と青森」(26人) ・2/8「外ヶ浜町大平山元遺跡の魅力」(18人) ・3/1「浅虫自然観察会の報告」(22人) … アンケートでは、各回ともに概ね好評価をいただいた。また、毎回共通して、郷土館の早期再開を求める声が寄せられている。 より多くの方に受講いただけるよう、広報や講座内容と実施時期等の工夫について検討する。 ○講師派遣 10件（考古1、自然1、歴史3、民俗5）の申込に対応し、合計362人が利用した。 … 依頼元から提出される実施報告書では、郷土の文化や歴史について分かりやすく紹介され、理解が深まったという報告があげられている。	達成せず

青森県立郷土館 令和6年度評価

基本的運営方針	令和6年度事業計画			令和6年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
4 教育普及・学習支援 つづき				○自然観察会（定員 20 人） 9/29（日）青森市浅虫を会場に、森林では、岩石・地層やそこに生息する植物の観察を行い、海岸では、浅虫海洋生物学教育研究センターの協力を得て、海洋プランクトン採取と顕微鏡での観察を行った。（21 人参加） … 今回の観察会では考古分野の学芸員が同行しており、アンケート結果では、地形や植物等に限らず、考古分野など幅広い視点からの解説が得られたことで、参加者の満足感や充足感につながったことが見受けられた。 ○あおもり街かど探偵団（定員 15 人） 10/6（日）八甲田丸・青森駅前広場方面からニコニコ通りの地区を中心に散策しながら、学芸員が青森市の近代史と街並みの変遷等について解説を行った。（12 人参加） … アンケートでは、青森の街について知るために参加した方が多く、参加者全員から、参加の目的を達成したという評価であった。 ○博物館の仕事普及啓発事業 博物館活動や資料保存等に対する県民の理解を広めるため、「高精度なレプリカの作成と展示」をテーマに講演会を開催した（青森県博物館大会と併催）。 （5 人参加（※ このほか青森県博物館大会に 20 館 31 人が参加）） ○第 14 回日本ジオパーク全国大会下北大会でのポスター発表 8/31～9/1（2 日間）第 14 回日本ジオパーク全国大会下北大会において、下北地域で採取された化石や当館の調査研究を紹介するポスター展示及びポスターセッションを実施。 ○レファレンスサービス 県民等からの問い合わせ 530 件に対応。	

青森県立郷土館 令和6年度評価

基本的運営方針	令和6年度事業計画			令和6年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
4 教育普及・学習支援 つづき		<児童生徒向け事業> ・出前授業 実物資料を持参して学校の学習内容に応じた資料展示や解説、体験活動を行い、児童生徒の学習活動を支援します。 ・こどものくに 夏・冬休み中の子どもたちを対象に、もの作りや体験活動を行います。	・開催実績 [定員の8割以上] ・アンケート結果	<児童生徒向け事業> ○出前授業 <u>出前授業</u>：当館が提示する実施メニューに申込のあった学校で行う「出前授業」は、5件で合計111人の利用があった。 ・10/10 六戸町立六戸小学校3年「古い道具と昔の暮らし」(30人) ・11/19 東北町立甲地小学校3年「古い道具と昔の暮らし」(17人) ・11/21 青森市立東陽小学校3年「古い道具と昔の暮らし」(22人) ・11/26 六戸町立開知小学校3年「古い道具と昔の暮らし」(19人) ・11/28 つがる市立瑞穂小学校3年「古い道具と昔の暮らし」(23人) … 今年度、内容の厳選と時間の短縮(90分→60分)を行ったが、アンケートでは概ね好評価であった。 <u>特別出前授業</u>：今年度新たに、その時々の特ピックに応じて関連する学校で特別に開催する「特別出前授業」を開催し、2件で合計64人の利用があった。 ・6/4 深浦町立修道小学校5～6年「カイギュウ化石について」(25人) ・12/20 県立弘前南高校2年「弘前南高校所蔵考古資料について」(39人) … アンケートでは、実物資料に触れた感想や郷土の歴史や自然に対する発見や気づき、「博物館へ行きたい」といった、郷土館や博物館への興味関心の高まりを感じる意見などがあった。 ○こどものくに(定員25人) ・7/28(夏休み) 「タイムカプセル缶詰をつくろう！」(参加者19人+付添20人) <アンケート> 「缶詰王国あおもり」展の解説・見学を通して青森の缶詰の歴史等を学び、未来の自分へオリジナル缶詰をつくることができよかった。 ・1/12(冬休み)「づぐりまわし大会」(参加者26人+付添30人) <アンケート> 「づぐり」の由来についての解説もあり楽しく体験できたので、また参加したい。 … 夏休みの参加人数が目標に達しなかったことから、参加者確保に向けて、広報の充実等、対応を検討する。	概ね達成

青森県立郷土館 令和6年度評価

基本的運営方針	令和6年度事業計画			令和6年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
5 運営体制 すべての人に開かれた、安全・安心で快適な空間の提供と多様化するニーズへの対応のため、施設・設備の充実と館職員のさらなる資質向上に努めます。 また、資料を介してコミュニケーションを図り、他の博物館や学校、図書館、民間事業者等、多様な主体との積極的な連携・協働を推進し、社会の要請に応える博物館として総合力を高めます。これらの博物館活動を継続していくため、経営資源を最大限に生かしながら、効率的・効果的な運営基盤の確立を図ります。	すべての人に開かれた、安全・安心で快適な空間づくりを推進します。	・改修に向けた検討を進めます。 ・施設設備の定期点検を実施します。	・改修に向けた検討実績 ・施設設備の定期点検実績	○改修に向けて、基本設計を行った。 ○施設設備は、定期的な点検を実施し、不具合のあった設備については重要度等を踏まえ修繕を行った。	達成
	多様化するニーズに対応するため、研修への派遣等を通し、館職員のさらなる資質向上に努めます。	・職員を研修に派遣します。 ・館内での研修を行います。	・各種研修の実績	○次の研修に職員を派遣 ・国宝・重要文化財（美術工芸品）防災・防犯対策研修会（文化庁） ・公開承認施設担当者会議（文化庁） ・ミュージアム・パブリックリレーションズ研修（文化庁） ・文化財（美術工芸品）保存修理講習会（文化庁） ・民俗資料の応急処置ワークショップ（国立文化財機構文化財防災センター） ・被災自然史資料の初期処置ワークショップ（国立文化財機構文化財防災センター） ・無形民俗文化財研究協議会（東京文化財研究所） ○学芸課館内研修を実施 ・資料保存に関する研修 10回 ・博物館活動に関する研修 8回	達成

青森県立郷土館 令和6年度評価

基本的運営方針	令和6年度事業計画			令和6年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
5 運営体制 つづき	郷土館だより等の作成・配布やホームページ、複数のSNSの活用などにより、情報発信を推進します。 ホームページのアクセス数向上に取り組めます。	・郷土館だより等を作成・配布します。 ・様々な広報・情報媒体を計画的・効果的に活用します。	・出版物発行実績 ・広報配布物発行実績 ・情報媒体活用実績（新聞、テレビ・ラジオ、雑誌） ・SNS活用実績 ・HPアクセス数 [27,500件/年]	郷土館だより等を計画的に発行したほか、SNSをはじめとした様々な広報媒体等を活用し、効果的な広報に努めた。 今年度は当館HPの学習ページをリニューアルしたほか、新たにYouTubeのショート動画を作成・投稿するなど、当館HPのアクセス数を増やす取り組みを実施している。 ＜年間事業案内等作成・配布実績＞ ・郷土館だより 2回発行（予定含む） ・年間行事案内 1回発行 ＜様々な広報・情報媒体の活用実績＞ （新聞等への寄稿）新聞：52回、テレビ・ラジオ：11回、雑誌：2回（SNSの更新）インスタグラム 60回、フェイスブック 56回、X（旧ツイッター）51回、YouTube12回（動画4回、ショート動画8回）、ブログ 29回 計 208回 （その他広報誌掲載等）5回 （HPアクセス） 32,077件	達成
	資料を介してコミュニケーションを図り、多様な主体との積極的な連携・協働を推進します。	・多様な主体との連携により、展示会、講演会等を開催します。 ・収蔵資料検索システムをより充実させます。	・展示会、講演会等の開催実績 [4回・120人] ・収蔵資料検索システム登録実績 [登録：100点/年]	＜多様な主体との連携した取組＞ ※ 展示会については「2 展示」参照 ○講演会「浅虫海洋生物学教育研究センター創立百周年記念行事」 当館学芸員による講演も行い、127人の来場者があった。 ○依頼講師 様々な団体等から10件（民俗7、自然1、その他2）の依頼があり、学芸員を講師として派遣した（予定を含む）。 ○青森県博物館大会 10/3に県立図書館を会場として、県内の博物館・資料館が博物館活動を進めていくうえで参考となる実践例の紹介・講演会を行う青森県博物館大会を「博物館の仕事普及啓発事業」と併催で開催。 （青森県博物館等協会会員館20館31人参加（ほか一般参加5人）） ＜収蔵資料検索システムへの収蔵資料の登録＞ 収蔵資料検索システムへの登録を充実させ、資料の公開を進めた。 システム登録点数：1,805点（公開点数：12,119点）	達成

青森県立郷土館 令和6年度評価

基本的運営方針	令和6年度事業計画			令和6年度実績	計画達成状況
	年度目標	年度計画	評価項目		
5 運営体制 つづき	博物館活動を継続していくため、経営資源を最大限に生かしながら、効率的・効果的な運営基盤の確立を図ります。	・博物館評価を実施し、PDCAサイクルにより常に改善に取り組みます。	・博物館評価の実績	令和6年度事業の実施状況等の点検・評価を行う「博物館評価」として、令和7年1月末現在の取組状況による中間評価を令和7年2月に実施の上、令和6年度事業実績による最終評価を年度終了後（令和7年7月）に実施。	達成